12/7 卓越した技能者「現代の名工」表彰を受賞

厚生労働省が毎年実施する卓越した技能者「現代の名工」表彰式において、太鼓台に付ける飾り幕などを製作する縫い師の高橋直孝さん（川之江町）がこれまでの取り組みとその卓越した技能を認められ、現代の名工として表彰されたことを市長に報告しました。

12/10 ガネヴィ高橋さんが市長を表敬訪問

本市出身でブラジル最大のクラシック音楽事務所「Artematriz（アルチマトリース）」の専属歌手として活動するガネヴィ高橋正美さんが市長を表敬訪問し、「いつか四国中央市にオペラやミュージカルを持ってきたい」と話しました。

12/12 新型コロナウイルスの差別をなくそう！水引シトラスリボンツリーを共同制作

ホテルグランフォーレで、新型コロナウイルス感染者に対する差別解消を目指す「シトラスリボンプロジェクト」の輪を広げようと、市障がい者福祉団体連合会川之江支部（山口佐人（すけひと）会長）と美結（みむす）会（今村八千代代表）が、水引を使用したクリスマスツリーを作りました。

12/13 クリスマスジャズライブ in しこちゅ～

しこちゅ～ホールで開催され、ピアニストの栗田敬子さんによる「栗田敬子トリオ」にゲストとしてサックス奏者の大西由記さんが加わり、お馴染みのクリスマスソングのほか、落ち着いた雰囲気のオリジナル曲などが披露されました。

12/18 春季善行表彰受賞者が市長を表敬訪問

小富士スポーツ少年団と寒川小学校の児童代表が受賞を報告するため、市長を表敬訪問しました。小富士スポーツ少年団は交通安全茶屋の活動での「事故防止」が、寒川小学校は「八幡丸船唄」の継承による「自然と文化財愛護」が高く評価されての受賞となりました。

12/19 男女共同参画トークライブ「このまちで TOMONI」

しこちゅ～ホールで開催され、コスモステレビで生中継されました。「四国中央市男女共同参画推進ネットワーク会議 TOMONI」のメンバーによるプチ講座の後、LINE による視聴者からのコメントも交えて、市内のさまざまな世代や職業のパネリストが話し合いました。

12/20 しこちゅ～すまいるフェスティバル

しこちゅ～ホールみどりの広場で、高校生ボランティアグループ「しこちゅ～ボラ７（セブン）」により開催され、ミニゲームのほか、「四国中央少年少女合唱団」「三島高校ダンス部」「土居高校情報科学部」「川之江高校バトン部」などがステージイベントを行いました。

12/20 第 16 回市内綱引大会

アリーナ土居（土居総合体育館）で開催され、20 チーム 160 人の参加がありました。試合後のハイタッチは行わない、試合ごとに綱引きロープの消毒を行うなどの感染症対策が徹底されたなか、選手たちは真剣な表情で綱を握り、力を合わせて綱を引いていました。

12/21 消防長による年末特別査察

利用客が集中する年末年始を前に、消防用設備、避難設備及び避難障害などの適正な維持管理を促し、火災予防に万全を期するため、管内の物品販売店で消防長による年末特別査察を実施し、店舗関係者と現地を確認し、適切な防火管理に努めるよう指導しました。

12/23 GIGA スクール構想全体説明会

三島東中学校で小・中学校教職員を対象に開催され、「ICT の先進事例に学ぶ」という演題の講演が行われました。市内小・中学校で GIGA スクール構想の運用を順次開始するため、参加者は先進的な教育を実践している愛光学園の取り組みに熱心に耳を傾けていました。

12/24 トイレトレーラーお披露目式

消防防災センターで開催され、車体のラッピングをデザインした川之江高校美術部も出席しました。トイレトレーラーは、大規模災害などが発生した際に避難所などへ設置し、トイレ不足を解消するための車両で、四国内の自治体では本市が初めての導入となります。

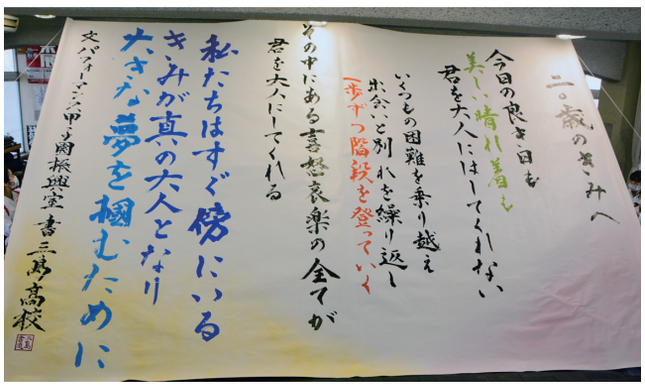
12/26 川之江高校と三島高校書道部が合同で書道パフォーマンス作品を揮毫

三島高校で、両校の部員が学校の垣根を越えて合同で作品を揮毫（きごう）しました。市民のみなさんに新型コロナウイルスに負けない前向きな気持ちを持っていただこうとの思いから、「新春の誓い」というテーマのもと、高校生の熱い思いが込められた作品が完成しました。

12/31 新春への希望を込めて「鳳凰の花火」

市内４か所で、「鳳凰の花火」が打ち上げられ、冬の夜空を彩りました。この花火は、（公社）法皇青年会議所（飛鷹惣太郎理事長）が愛と平和の象徴とされる「鳳凰」の名のもと、新型コロナウイルス感染拡大で不安が募る市民を勇気づけようと企画したものです。

1/7 「20歳のきみへ」三島高校書道部が新成人に向けたメッセージを揮毫



成人式が新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、やむを得ず延期になったことを受け、新成人のみなさんに書道パフォーマンスのまちらしいエールを送ろうと書道パフォーマンス甲子園推進室が文案を作成、三島高校書道部が心を込めて揮毫（きごう）しました。

1/10 第34回新春やまじっこマラソン大会

土居町の関川河川敷ふるさと広場で開催されたこの大会は、やまじ風のように力強く生きていこうとの思いを込めて毎年開催しています。今年は参加者を市内在住の方に限り、密を避けるためスタートを部門ごとに区切るなど、感染症対策のうえ開催されました。

1/11 親子ふれあい凧（たこ）あげ大会

伊予三島運動公園体育館で行われました。市愛護班連絡協議会が毎年開催しており、今年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、凧あげは行わず凧作りのみの実施となりましたが、参加者は親子で楽しく昔ながらの凧作りに挑戦しました。

市長のひとりごと

四国中央市長
篠原 実

一人はみんなのために、みんなは一人のために

それぞれの年賀には、それぞれの思いがある。大方の人は、今年はコロナウイルスに関連しているのではないかと思う。感染された方も、関連した方も、治療された医療関係者も、そして我々のように行政関係者も立場は違えども、悲痛な思いでこの年を迎えたのではないかなと思う。感染された方が、一刻も早く健康を回復されることが、志念の第一である。

コロナと財政を思うと、ともすれば、逃げ出したくなる。できないことを夢想しても、仕方がないが神頼みである。財政は十分努力の余地はあるが、感染症はどうにもならない。一人ひとりが、当たり前のことを、当たり前すぎるくらい気をつけることである。ラグビーのスピリッツに「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という言葉がありますが、みんながその精神にすがってがんばるしかない。

それでも、知り合いの娘さんがお嫁にいって、今年になって元気な赤ちゃんをこの世に送り出してくれた。そんないい便りもあるのだ。今年生まれてくる赤ちゃんに笑われないよう、しっかり性根を据え直して、根性入れてがんばるしかない。豆まきにそんな思いを込めて!!